

## 第17回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

### 1 日 時

平成23年3月16日 18:00

### 2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

### 3 配付資料

第17回宮城県災害対策本部会議資料

### 4 議事要旨

#### ○阿久津内閣府大臣政務官

- ・福島原発について、政府にしっかり正確な情報入れるように連絡した。
- ・ガソリンスタンドの情報について東北経済産業局から報告させる。

#### ○東北経済産業局

- ・スタンドの営業状況は、東北六県で3,866のガソリンスタンドのうち、沿岸部を除く3,388箇所に電話調査し、回答は1,239箇所。
- ・579箇所が営業、393箇所が緊急車両のみの対応。
- ・青森県105(64)岩手県73(62)宮城県20(16)秋田県159(73)山形県88(70)福島県134(108)カッコ内が緊急車両のみの対応箇所。
- ・岩手県と宮城県では、ほとんど緊急のみの対応で、深刻な状態。
- ・東北にタンクローリーで燃料を配送するよう努力をしている。

#### ○阿久津内閣府大臣政務官

- ・明日以降、仙台空港が使えるようになる。ただし、米軍機、自衛隊機に使用は限られる。物資輸送が可能になるので。これを念頭に置きながらご意見をいただければと思う。

#### ○小野寺危機管理監

- ・午後4時現在、死者1,431名行方不明者2,322名。

#### ○仙台管区气象台

- ・明日にかけて強い冬型の気圧配置。気温は1月下旬が2月上旬並み。
- ・西よりの風10~13mくらい、やや強い。所により夕方まで雪がちらつく。
- ・本日12時52分、M6.1の地震があったが、今後の震度5強以上の余震の確率は、16日以降3日間で40%で昨日と変わっていない。引き続き十分ご注意願いたい。

○今野総務部長

- ・ 38名の職員と連絡取れていない。登米合庁は電気復旧。
- ・ 全国から励ましのメールや電話来ている。その反面、多くの電話、メールにより電話回線が混雑し、通信障害が発生し、必要な情報収集が出来ない事態。特に石巻方面をはじめ被害が大きかったところで。実際、今日も、通信が確保できず、確保できそうだった燃油が石巻に届けられなかった。
- ・ 報道の皆様をお願いしたい。人命等に直接関係のないものは、お気持ちだけで、ご遠慮いただくよう報道していただきたい。

○佐藤企画部長

- ・ 受け入れた物資は順次配送中。山元町に2万枚の毛布を搬送。今後順次搬送していく。

○小泉環境生活部長

- ・ 原子力保安院から、毎日説明会を開催すると連絡を受けた。
- ・ 原発関連相談窓口に217件の相談あり。
- ・ 環境省からバキュームカーと仮設トイレ提供の申し出があり、受け入れ計画を立てている。

○岡部保健福祉部長

- ・ 避難所における感染症対策について、東北大学の3先生に発生予防の指導を受ける予定。
- ・ 東北労災病院の受入れ困難。坂総合病院と佐沼病院は受入れ可能となったばかりだったが、患者が殺到し、受入れ困難となった。

○河端経済商工観光部長

- ・ 3箇所へ緊急車両専用給油所を設置。警備がつき、特に困難なくスタートした。
- ・ 中国吉林省から寄付金の申し出あり。10万米ドル。
- ・ セントラル自動車から支援物資の申し出あり。4tトラック4台分を気仙沼市と南三陸町に向けて搬送。
- ・ 住友商事から、飲料水を南三陸町の3つの避難所に1,000本ずつ搬送していただいた。
- ・ 地震や原発の関係でパスポート発行が多くなっているため休日の発行業務を行う。

○千葉農林水産部長

- ・ 海上からの物資を陸揚げ可能とするため、県内主要漁港の海上浮遊物撤去作業用ガットバージ船を手配した。到着は、塩竈17日、気仙沼18日、志津川20日、女川22日、石巻19日。津波のため県内船は壊滅し、函館、高知、大阪から呼び寄せたため時間がかかった。

- ・作業中，ご遺体の発見があると思うので警察にも協力をお願いしたい。

○橋本土木部長

- ・志津川県営住宅は全壊。
- ・女川方面の救援ルートを確保済み。
- ・阿武隈川下流流域下水は，本日から一部稼働。
- ・仙台市折立団地の応急危険判定について仙台市から依頼あり。

○自衛隊

- ・ご遺体を新たに217体収容。合計863体。

○竹内警察本部長

- ・遺体の検死，2，207体。推察される氏名リストを公表した。
- ・約100名のご家族がいっぺんにグランディに来られた。受付等に応援をいただきたい。
- ・各市町村長へ人員派遣のお願いをしている。
- ・震災関連便乗犯罪が146件発生している。現金で146万9千円，物品で263万円相当の被害。例えば，石巻市内のコンビニATMをバールで破壊し，現金を持ち去ろうとした3名を現行犯逮捕，放置車両からガソリンを抜き取る事件も発生している。
- ・ガソリンスタンドに関する大がかりな犯罪は起きていない。ガソリンスタンドの警備や，県民に広く説明が必要。

○阿久津内閣府大臣政務官

- ・検死一般医師の派遣については，大塚厚生労働副大臣から検討すると返事をもらっている。

○消防庁

- ・本日3，143名活動中
- ・全農石油仙台基地でガソリン漏れを今日午後発見。仙台市消防局で体制を増やして対応中。仙台港高松ふ頭の警戒作業実施地から500m地点。安全が確認されるまでの間，作業を中断中。

○東北電力（株）

- ・停電戸数は15時現在，42万1千戸，停電率30%，復電戸数96万戸。
- ・白石市，多賀城市，栗原市，登米市で回復の広がりを見せている。
- ・電源車の活用ニーズあればお知らせ願いたい。3～4日，10台ほど使える。400～500キロワットで燃料付き。

○村井災害対策本部長

- ・南三陸町，気仙沼市は電力ゼロ。

#### ○小林教育長

- ・県立学校の今月の授業は打ち切る。新学年スタートも遅らせる方向で検討中。
- ・避難所となっている県立学校，指定されていない県立学校は勿論，指定されている学校も市町村からの人的支援がほとんどない状態。各学校の教職員が対応しているが，発災以降不眠不休で対応しており，すでに5日目で教職員も限界。
- ・比較的緊急業務のない県立学校の職員を募って，応援体制を検討中。一兩日中に具体化させたい。
- ・兵庫県震災支援チーム「アース」3名の教員が到着。南三陸町の避難所になっている学校に行っている。
- ・その他各県小林教育長からも支援の申し出があり，その人たちの移動手段や宿泊所をどうするかが大きな課題になっている。

#### ○若生災害対策副本部長

- ・石巻，気仙沼，南三陸はだいたい同じような状況。避難所が細分化されていて数が多く，それが一番の問題。
- ・気仙沼は100ヶ所で3万人避難しているが，食事だけ取りに来る人もいるし，夜になると人が増え，昼は減っていて，正確な人数が把握できないが，増えているようだ。
- ・市町村の職員が携帯電話を使えないので，数多くの避難所を行き来している。
- ・電話の中継車が着き始めて連絡が取りやすくなっているが，市町村も把握仕切れていない避難所があり，そこに物資が行き届かないのが問題。
- ・市町村は避難所を統合しながら数を減らそうと考えていると思う。
- ・マスコミで報道されて初めて避難所の存在を知る場合もあるようだ。
- ・南三陸と気仙沼は早く電気が欲しいと期待している。なるべく急いでいただければと思う。

#### ○小野寺危機管理監

- ・避難所の数が多い。今回は大津波警報が出され，とりあえず高いところに逃げて，そこがそのまま避難所になった。市町村も正確な把握に時間がかかった。
- ・輸送方法は，一番迅速なヘリを使ってやるように自衛隊にお願いしているが，天気が悪いと飛べない。

#### ○村井災害対策本部長

- ・物資は，足りないながらも広くは行きわたっている。
- ・亡くなった方々の対応についても，ご遺体が痛んでくるので，迅速に回収し対応しなければいけないが，避難者に対する丁寧なケアに精力を傾けていきたい。
- ・大きな場所や離れた場所に移動していただくことも考えなければと思っている。多くの市町村，他県から集団疎開について話をいただいている。

・燃料については，経商部の平泉次長と自衛隊で調整する。燃料関係の情報は平泉次長に集約していただきたい。

次回は3月17日10時00分に開催する。